

平成 29 年度事業計画書
(平成 29 年 2 月 1 日から平成 30 年 1 月 31 日まで)

①会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第 4 条第 1 号）

- ・第 117 回日本外科学会定期学術集会を下記のとおり行う。

日時 平成 29 年 4 月 27 日～29 日

場所 パシフィコ横浜（横浜市）

参加予定者数 13,000 名 演題数 3,327 題

テーマ「医療安全そして考える外科学：

Clinical Safety and Contemplation of Surgical Science」

- ・学術集会の在り方を検討する。

②機関誌、論文図書等の刊行（定款第 4 条第 2 号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行する（通常号は電子ジャーナルとして発行し、希望により配本する）。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成 29 年 2 月 10 日	118	臨時増刊 2	39,000
平成 29 年 3 月 1 日	118	2	7,000
平成 29 年 5 月 1 日	118	3	7,000
平成 29 年 7 月 1 日	118	4	7,000
平成 29 年 9 月 1 日	118	5	7,000
平成 29 年 11 月 1 日	118	6	7,000
平成 30 年 1 月 1 日	119	1	7,000
平成 30 年 1 月 15 日	119	臨時増刊 1	39,000

- ・Official Journal「Surgery Today」およびオンライン・ファーストを下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
平成 29 年 2 月 1 日	47	2	40,000
平成 29 年 3 月 1 日	47	3	40,000
平成 29 年 4 月 1 日	47	4	40,000
平成 29 年 5 月 1 日	47	5	40,000
平成 29 年 6 月 1 日	47	6	40,000
平成 29 年 7 月 1 日	47	7	40,000
平成 29 年 8 月 1 日	47	8	40,000
平成 29 年 9 月 1 日	47	9	40,000
平成 29 年 10 月 1 日	47	10	40,000
平成 29 年 11 月 1 日	47	11	40,000
平成 29 年 12 月 1 日	47	12	40,000
平成 30 年 1 月 1 日	48	1	40,000

- ・Case Report誌「Surgical Case Reports」を下記のとおり電子ジャーナルとして発行する。

発行年月日	巻
平成 29 年 2 月 1 日	3
平成 29 年 3 月 1 日	3
平成 29 年 4 月 1 日	3
平成 29 年 5 月 1 日	3
平成 29 年 6 月 1 日	3
平成 29 年 7 月 1 日	3
平成 29 年 8 月 1 日	3
平成 29 年 9 月 1 日	3
平成 29 年 10 月 1 日	3
平成 29 年 11 月 1 日	3
平成 29 年 12 月 1 日	3
平成 30 年 1 月 1 日	4

- ・「論文作成の留意点」をまとめて、公開する。

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第4条第3号）

- ・German Society of Surgery (GSS), American College of Surgeons (ACS), Society of University Surgeons (SUS) と学術交流を行い、若手外科医の交換発表などを行う。
- ・Royal College of Surgeons England (RCS) の International Surgical Training Program (ISTP) に参加する。
- ・日本医学会、日本医学会連合、日本医療機能評価機構、日本女性外科医会の活動に積極的に参画する。
- ・外科系18学会と外科関連学会協議会を組織して、外科系の横断的な諸問題を協働で検討する。
- ・外国人若手医師を受け入れる研修制度の仕組みを検討する。

④外科学に関する研究及び調査（定款第4条第4号）

- ・標準手術ビデオを5本作成して、ビデオライブラリーに収載する。
- 土岐祐一郎（大阪大学）
 渡邊 昌彦（北里大学）
 原 尚人（筑波大学）
 平野 聰（北海道大学）
 横見瀬裕保（香川大学）

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第4条第5号）

- ・外科専門医制度に則り、外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録し、指定施設と関連施設を指定する。
- ・日本専門医機構と協働して、わが国の新しい専門医制度の構築のために、「外科領域専門研修プログラム」を審査し、日本専門医機構認定の専門医の認定に向けた諸準備を行う。
- ・外傷講習会を開催し、また、日本外傷診療研究機構、日本 Acute Care Surgery 学会、日

本腹部救急医学会などの協力を得て、専攻医の外傷の修練を強化する。

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第4条第6号）

- ・「外科臨床研究の利益相反に関する指針」に則り、該当者から利益相反自己申告書を回収する。

- ・第18回臨床研究セミナーを下記のとおり行い、ホームページで動画配信する。

日時 平成29年4月29日

場所 パシフィコ横浜（横浜市） 参加予定者数 500名

- ・第19回臨床研究セミナーを日本臨床外科学会と共に下記のとおり行い、ホームページで動画配信する。

日時 平成29年11月中

場所 東京都内 参加予定者数 500名

- ・第24回研究奨励賞（Surgery Today Research Award）を表彰する（5名）。

- ・第117回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な10演題をビデオライブラリーに収載して、制作補助費を支給する。

- ・「日本外科学会臨床研究助成」（JSS Clinical Investigation Project Award）の補助金を支給する（1名）。

- ・「若手外科医のための臨床研究助成」（JSS Young Researcher Award）の補助金を支給する（5名）。

- ・National Clinical Database（NCD）を活用した臨床研究の助成を検討すると共に、複数領域に跨るNCDデータを利活用した臨床研究を行う場合の調整窓口を務める。

⑦生涯学習活動の推進（定款第4条第7号）

- ・第91回卒後教育セミナーを下記のとおり行う。

日時 平成29年4月29日

場所 パシフィコ横浜（横浜市） 参加予定者数 1,000名

テーマ「患者安全から質向上へ—外科医が知りたい質管理マネジメント—」、「外科医のキャリアデザインと留学」

- ・第92回卒後教育セミナーを下記のとおり行う。

日時 平成29年11月中

場所 東京都内 参加予定者数 1,000名

テーマ「低侵襲手術のpitfall」

- ・第25回生涯教育セミナーを下記のとおり行う。

テーマ「医療安全」

（北海道地区）

日時 平成30年1月6日

場所 北海道大学医学部フラテホール（札幌市） 参加予定者数 100名

（東北地区）

日時 平成29年9月9日

場所 盛岡市内 参加予定者数 100名

（関東地区）

日時 平成 29 年 9 月 10 日
 場所 ヤクルトホール（東京都港区） 参加予定者数 100 名
 (中部地区)

日時 平成 29 年 4 月 16 日
 場所 名古屋大学病院（名古屋市） 参加予定者数 100 名
 (近畿地区)

日時 平成 29 年 9 月 2 日
 場所 京都テルサ（京都市） 参加予定者数 100 名
 (中国四国地区)

日時 平成 29 年 9 月 9 日
 場所 高知城ホール（高知市） 参加予定者数 100 名
 (九州地区)

日時 平成 29 年 5 月 27 日
 場所 メルパルク熊本（熊本市） 参加予定者数 100 名

- ・若手外科医の手術を含めた診療能力向上のための「病院間医師交流による若手外科医師の教育プロジェクト」を行う。

⑧外科診療に関する情報や指針の提供（定款第 4 条第 8 号）

- ・National Clinical Database（NCD）に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力する。
- ・「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン（Guidelines for Cadaver Dissection in Education and Research of Clinical Medicine）」に基づくサージカルトレーニングの普及を図る。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発（定款第 4 条第 9 号）

- ・広報活動として、第 43 回市民講座を下記のとおり行い、ホームページで動画配信する。
- 日時 平成 29 年 4 月 30 日
 場所 前橋市民文化会館（前橋市）
 テーマ「若者に伝える外科医という仕事」

⑩医療政策に関する建議（定款第 4 条第 10 号）

- ・外科系学会社会保険委員会連合（外保連）に参加し、外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と、その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力する。
- ・「医療事故調査・支援センター」（日本医療安全調査機構）の支援団体として、死因の調査分析事業に協力する。
- ・「学会認定・臨床輸血看護師制度協議会」に協力する。
- ・「特定行為に係る看護師の研修制度」を支援し、日本麻酔科学会と定期的に懇談する。
- ・日本女性外科医会と協働で、女性医師支援のためのアンケート調査を行う。
- ・「周術期管理・麻酔におけるマンパワーと労働環境およびチーム医療に関する実態調査」を実施する。
- ・「全国外科医仕事と生活の質調査」の分析を行う。

- ・外科医の適正数について調査し、その結果を元に初期臨床研修における外科の必修化や、外科医へのインセンティブの付与などを関係官庁に要望する。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第7号）

- ・代議員選任のための選挙準備を行う。
- ・システムサーバーやオンラインサービスなどの内容の見直しを行う。